

岩 国 飛 行 場 に 係 る  
航 空 機 騒 音 予 測 コ ン タ ー に つ い て

平成18年1月

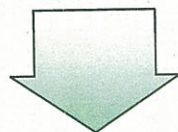
防衛施設庁

- 1 目的
- 2 予測コンター作成の基本的な考え方
- 3 調査対象機種
- 4 飛行回数
- 5 飛行経路
- 6 予測方法
- 7 予測コンターの種類
- 8 予測結果



# 1 目的

平成17年10月29日の「2+2」共同文書において、米空母艦載機(57機)は、厚木飛行場から、滑走路移設事業完了後には岩国飛行場に移駐され、同飛行場の運用の増大による影響を緩和するため、海上自衛隊のEP-3電子訓練機等(17機)の岩国飛行場から厚木飛行場への移駐等の措置を採ることが報告されました。



滑走路沖合移設事業が完了し、移駐された場合の、航空機騒音が周辺地域に与える影響を把握するため、騒音予測コンターを作成しました。



## 2 予測コンター作成の基本的な考え方

予測コンターの作成に当たっては、岩国飛行場における第一種区域(最終告示:平成4年3月)の基礎となった平成2年度の騒音度調査のデータを基本的に使用し、また、厚木飛行場から岩国飛行場に移駐する空母艦載機については、平成16年度の厚木飛行場における騒音度調査のデータを使用しました。



### 3 調査対象機種

- ① 岩国飛行場において、現在、運用されている航空機(FA-18C/D、EA-6B、AV-8B、CH-53D、US-1A、MH-53E等)
  - ② 厚木から岩国に移駐が予定されている米空母艦載機(FA-18C/D、FA-18E/F、EA-6B、E-2C)〔下線については配備済みの機種〕
  - ③ 岩国から厚木に移駐が予定されている電子訓練機等(EP-3、OP-3、UP-3、U-36A)
- を対象に調査を実施しました。





FA-18C/D



EA-6B



AV-8B



F/A-18E/F

新たな対象機種



CH-53D



US-1A



MH-53E



E-2C



EP-3



OP-3



UP-3



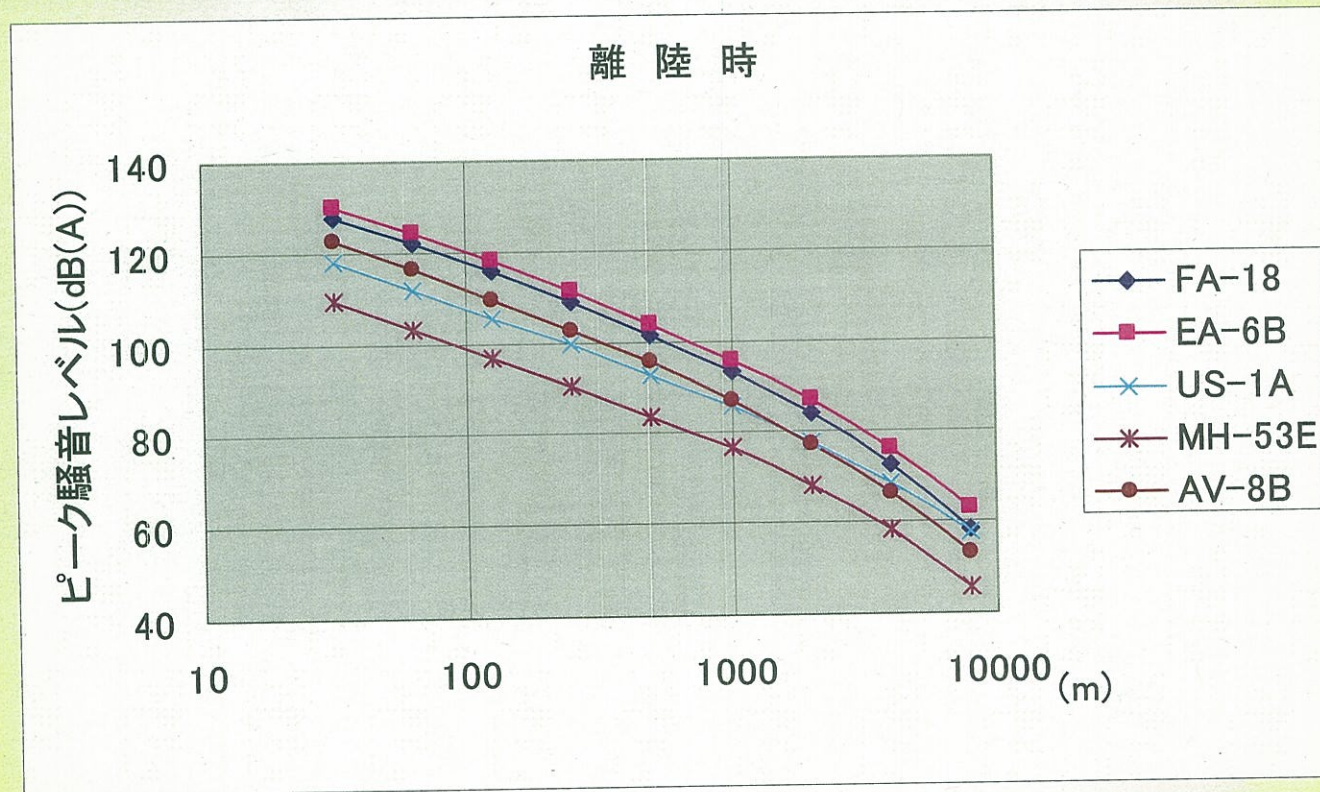
U-36A



## 機種毎の騒音データ

(FA-18C/D、EA-6B、AV-8B、US-1A、MH-53E)

厚木及び岩国飛行場において調査した結果得られた騒音データを使用しました。

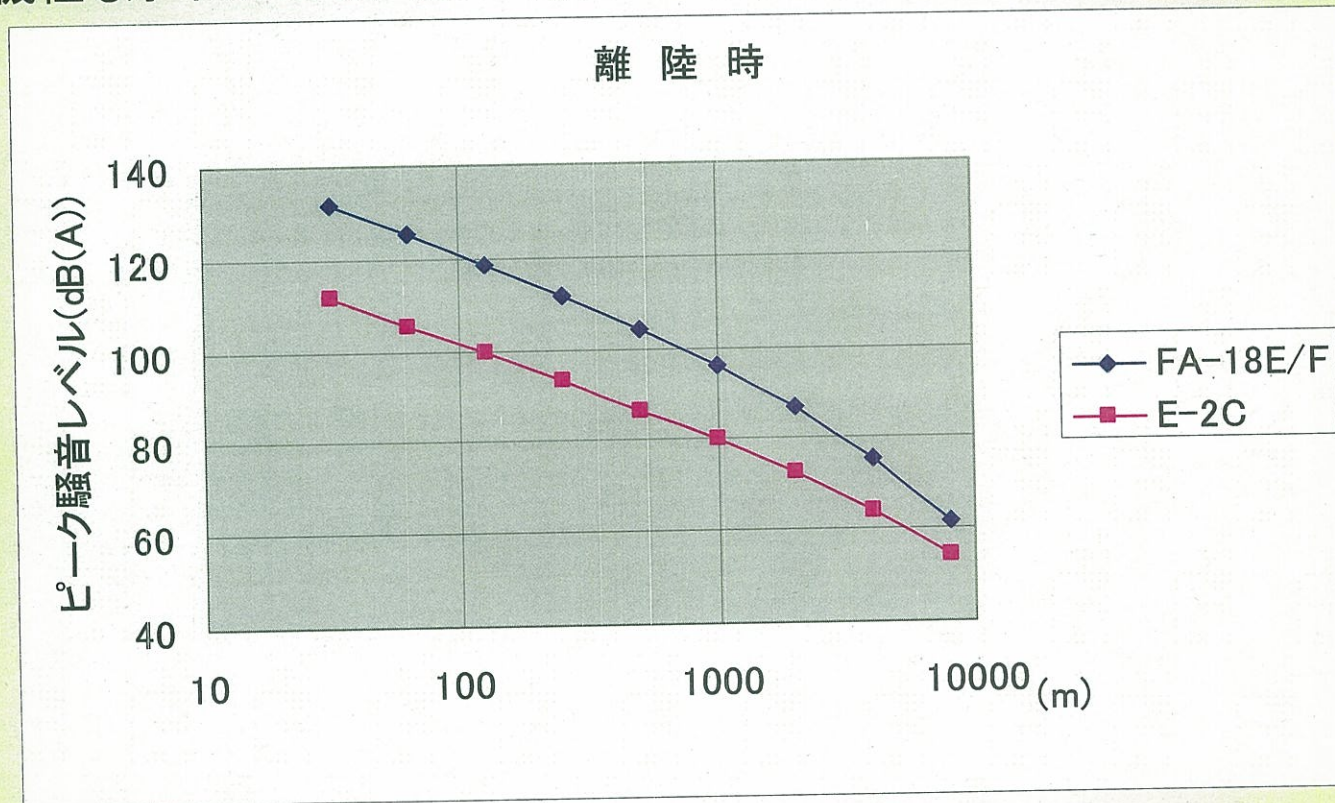


航空機からの距離(m)と騒音値(dB)の関係



## (FA-18E/F、E-2C)

いずれの機種も厚木飛行場において調査した結果得られた騒音データを使用しました。

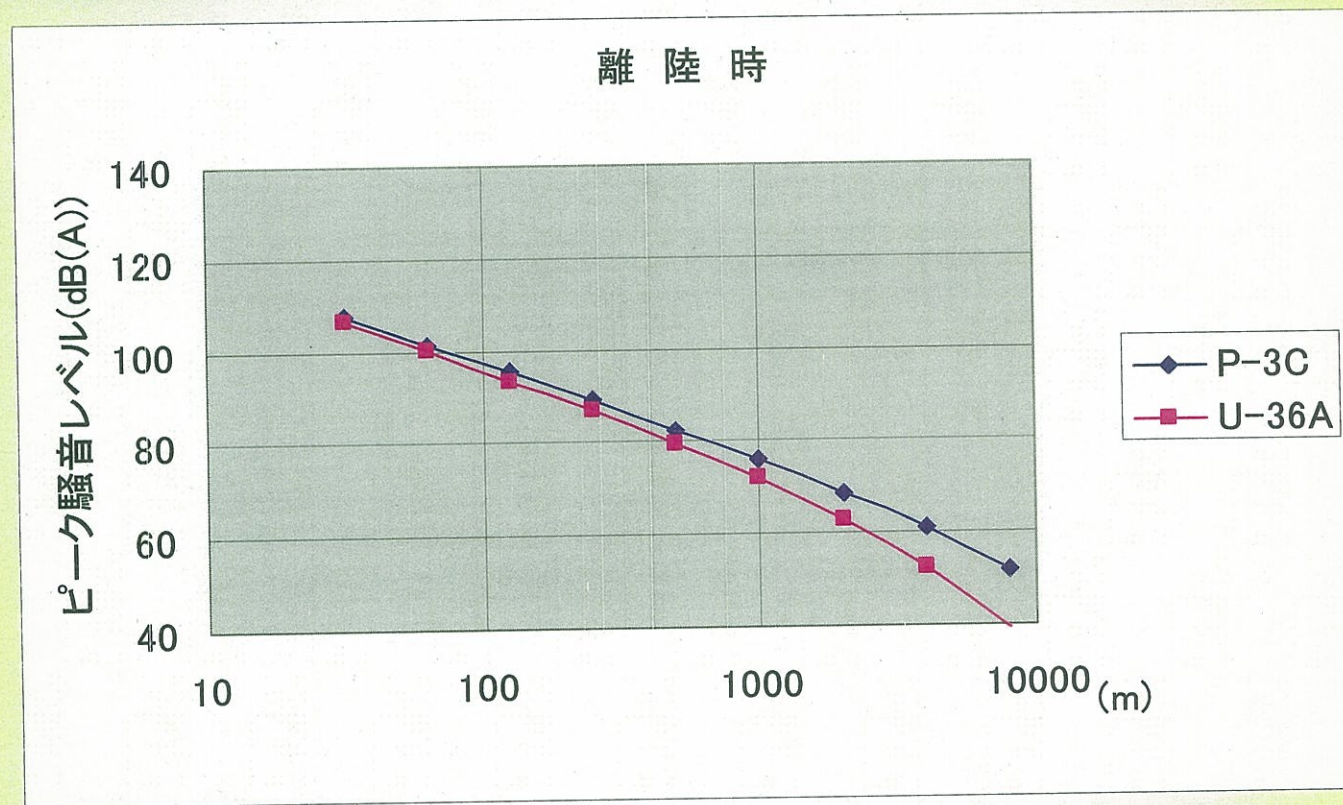


航空機からの距離(m)と騒音値(dB)の関係



(EP-3・OP-3・UP-3 → P-3C、U-36A)

厚木及び岩国飛行場において調査した結果得られた騒音データを使用しました。



航空機からの距離(m)と騒音値(dB)の関係



## 4 飛行回数

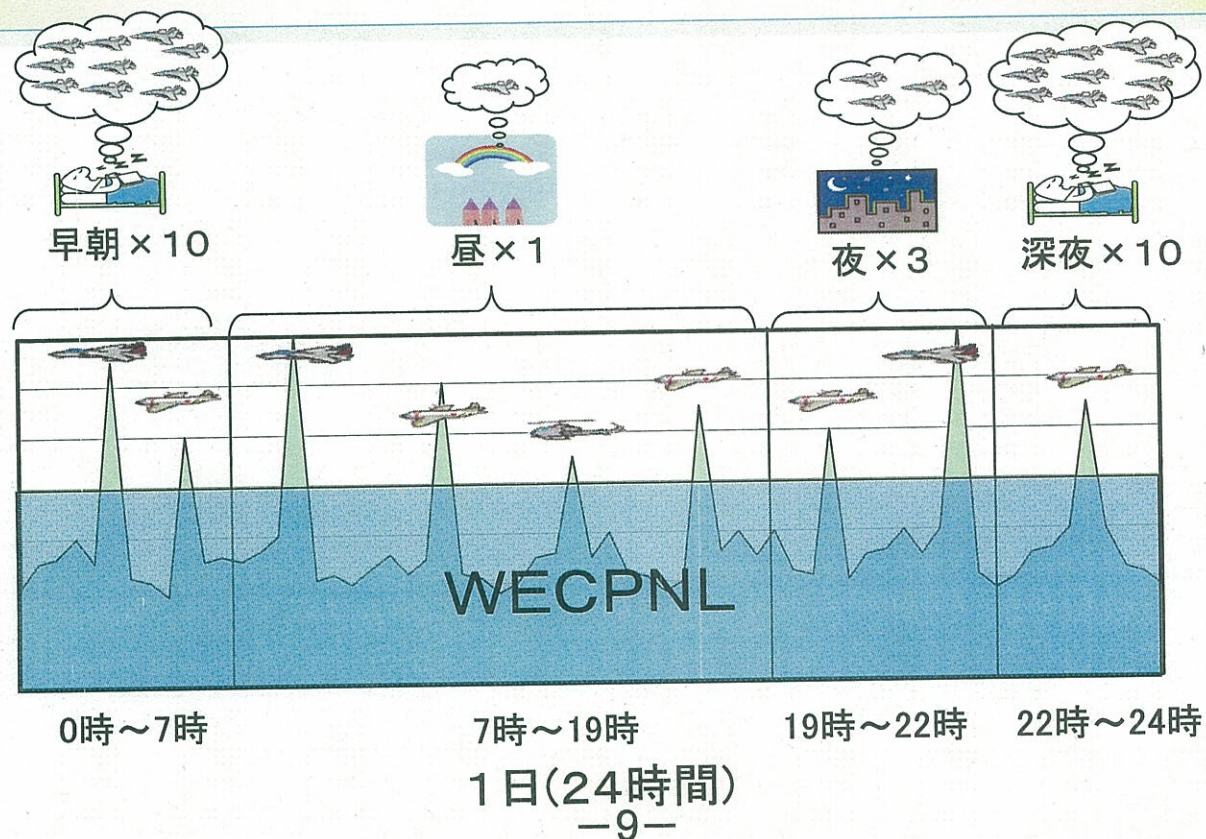
岩国飛行場において、最終告示(平.4.3.27.)を行った際に基礎となった騒音度調査における飛行回数(岩国飛行場の滑走路両端付近に設置している自動騒音測定装置で平成元年7月1日から平成2年6月30日までの1年間に測定した飛行回数に、時間帯による重み付けを行った後、当該飛行回数を多い方から数えて全体(365日)の10%に当たる日の飛行回数(337回))をベースとして、現在、岩国飛行場で運用されている配備機数の割合及び厚木と岩国との間を移駐する機数を考慮の上、再編後の1日の標準飛行回数(400回)を算出しました。



## 【 飛行回数について 】

飛行回数については、発生時間ごとに重み付けを行います。

具体的には、7時から19時までの間の航空機騒音の発生回数1回に対して、0時から7時までの間に発生した回数を10回として数え、19時から22時までの間は同様に3回として数え、22時から24時までの間は同様に10回として数えます。





## 5 飛行経路

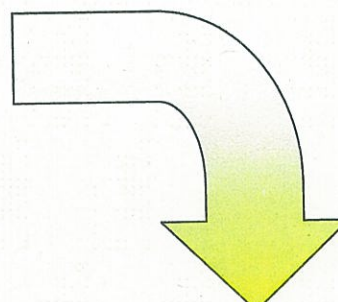
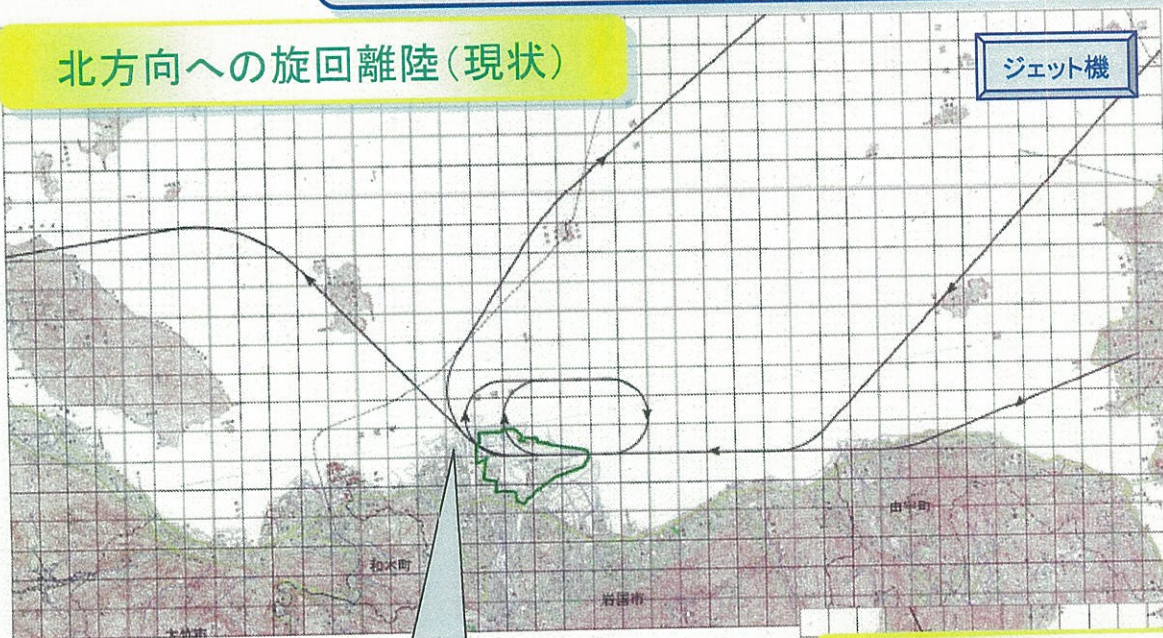
厚木飛行場の米空母艦載機が岩国へ移駐した後の飛行経路については、滑走路を沖合移設することにより、現在の飛行経路の一部（北方向への旋回離陸及び北からの旋回着陸）を変更しています。

（これは、沖合移設に伴う環境影響評価の際に想定した飛行経路と同一であります。）

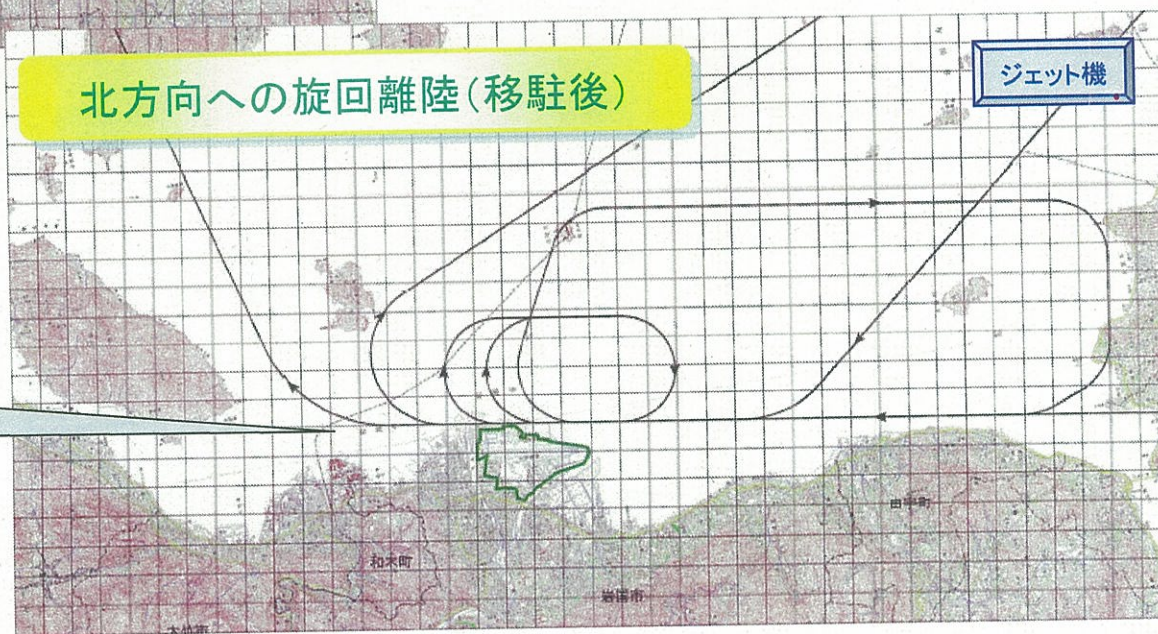


# 【 飛行経路を変更したもの 】

北方向への旋回離陸(現状)



北方向への旋回離陸(移駐後)

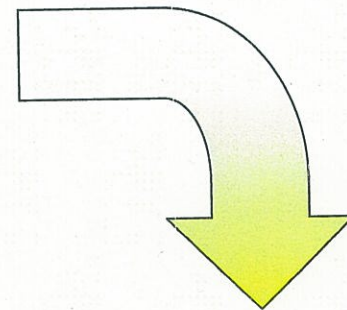
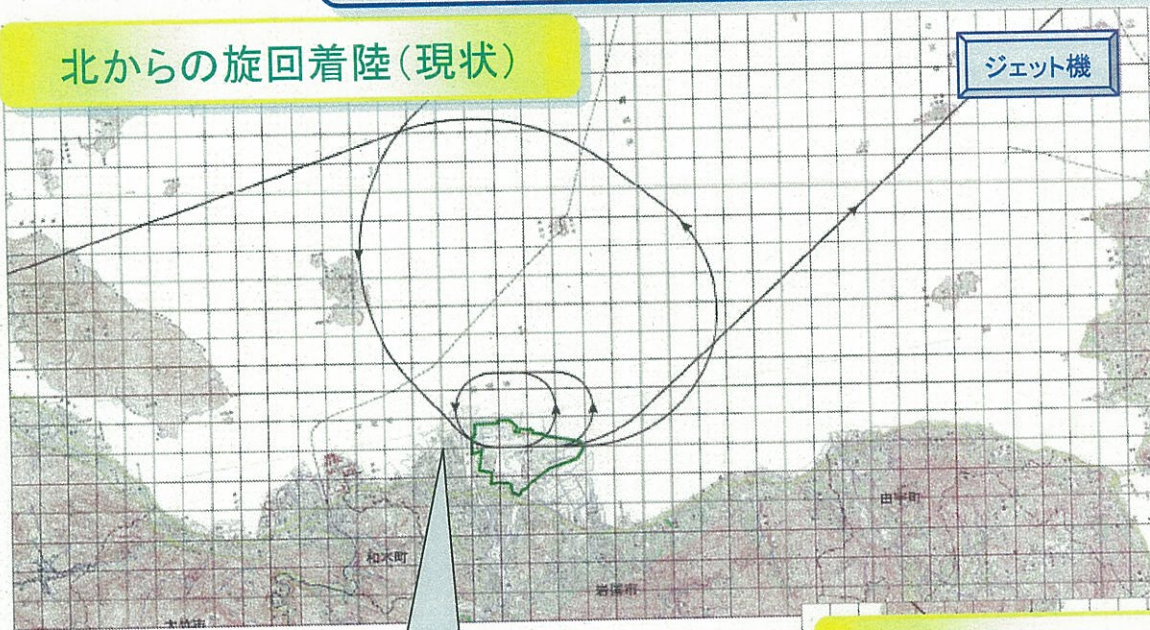


急旋回を緩やかなものとなりました

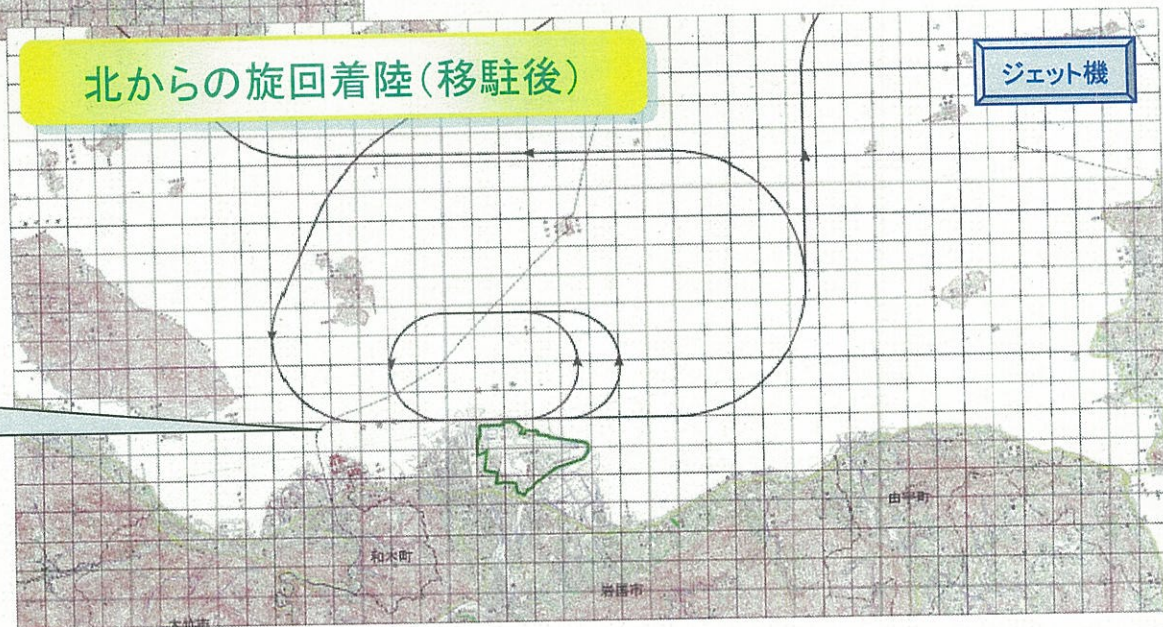


# 【 飛行経路を変更したもの 】

北からの旋回着陸(現状)



北からの旋回着陸(移駐後)

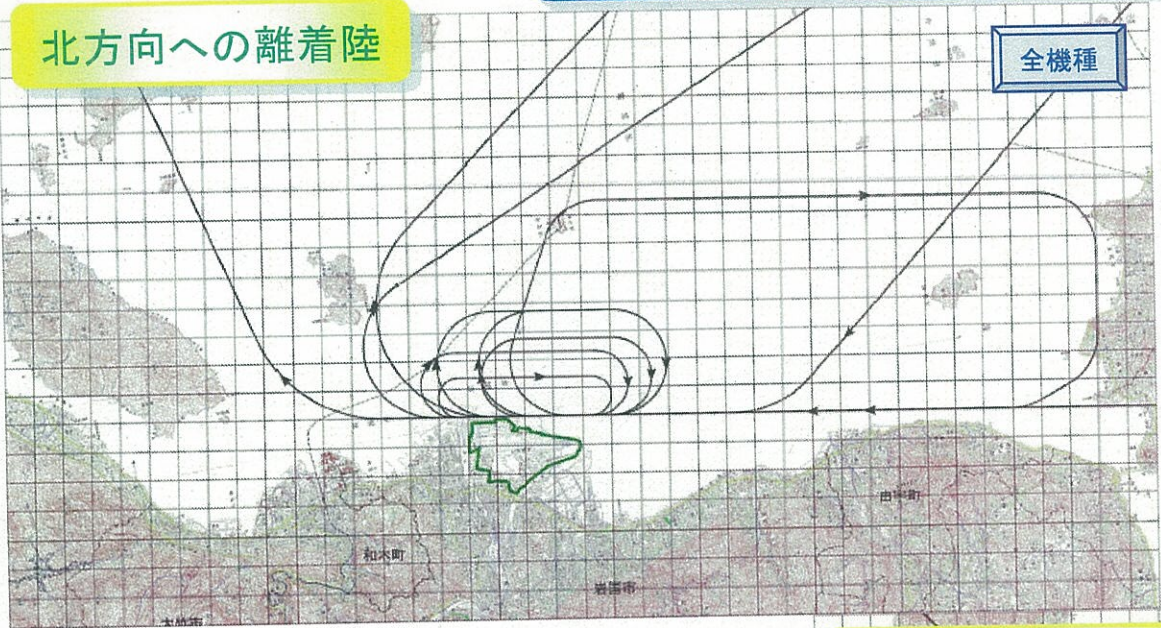


急旋回を緩やかなものとなりました

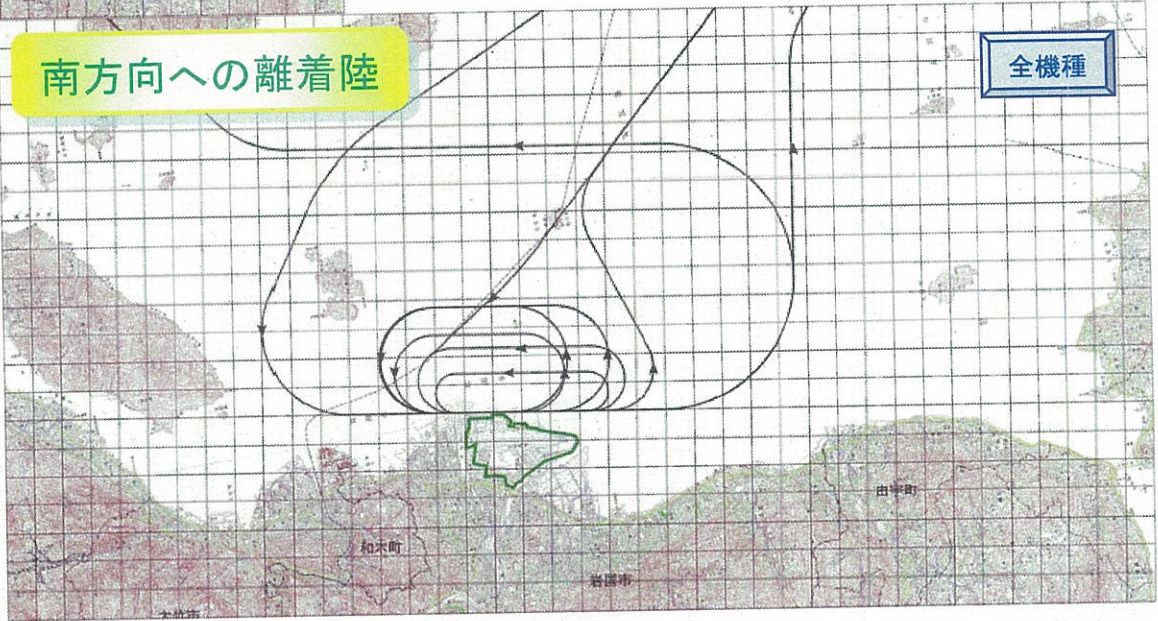


# 【 標準的な飛行経路 】

北方向への離着陸



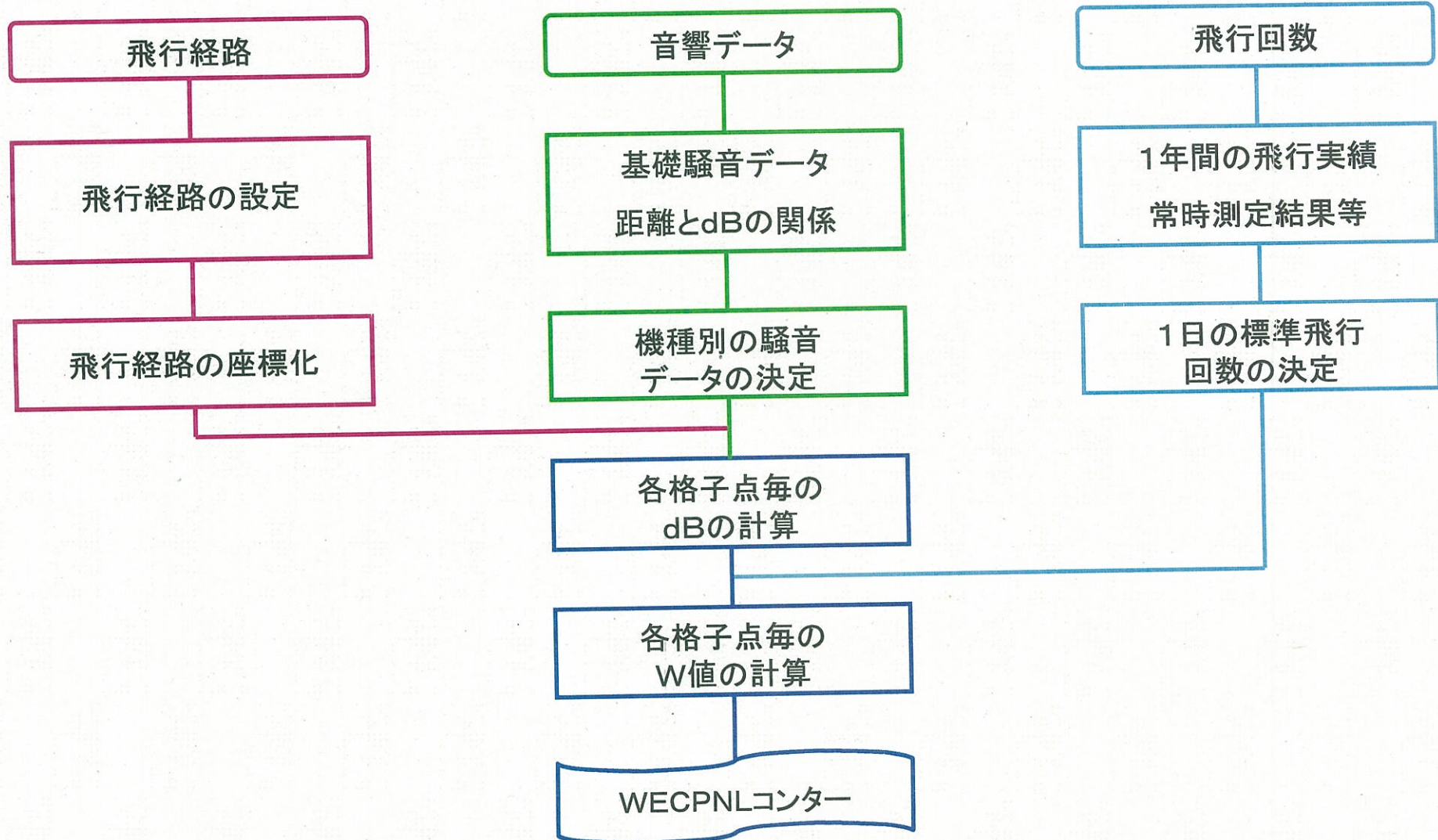
南方向への離着陸





# 6 予測方法

## ・ 予測フローチャート





## 7 予測コンターの種類

① 再編後のWECPNLコンター

(厚木から岩国へ57機及び岩国から厚木へ17機移駐した場合)

② 現状のWECPNLコンター

(平成2年度の騒音度調査データを基に算出した現状の騒音状況)

③ 環境アセス調査のWECPNLコンター

(沖合移設に伴う環境影響評価書の騒音予測)

④ 厚木からの移駐のみを考慮したWECPNLコンター

(岩国から厚木への移駐(17機)がなかった場合)

⑤ 低騒音機(E-2C)によるNLPの際のdB(A)コンター

(沖合移設後の滑走路で実施した場合)

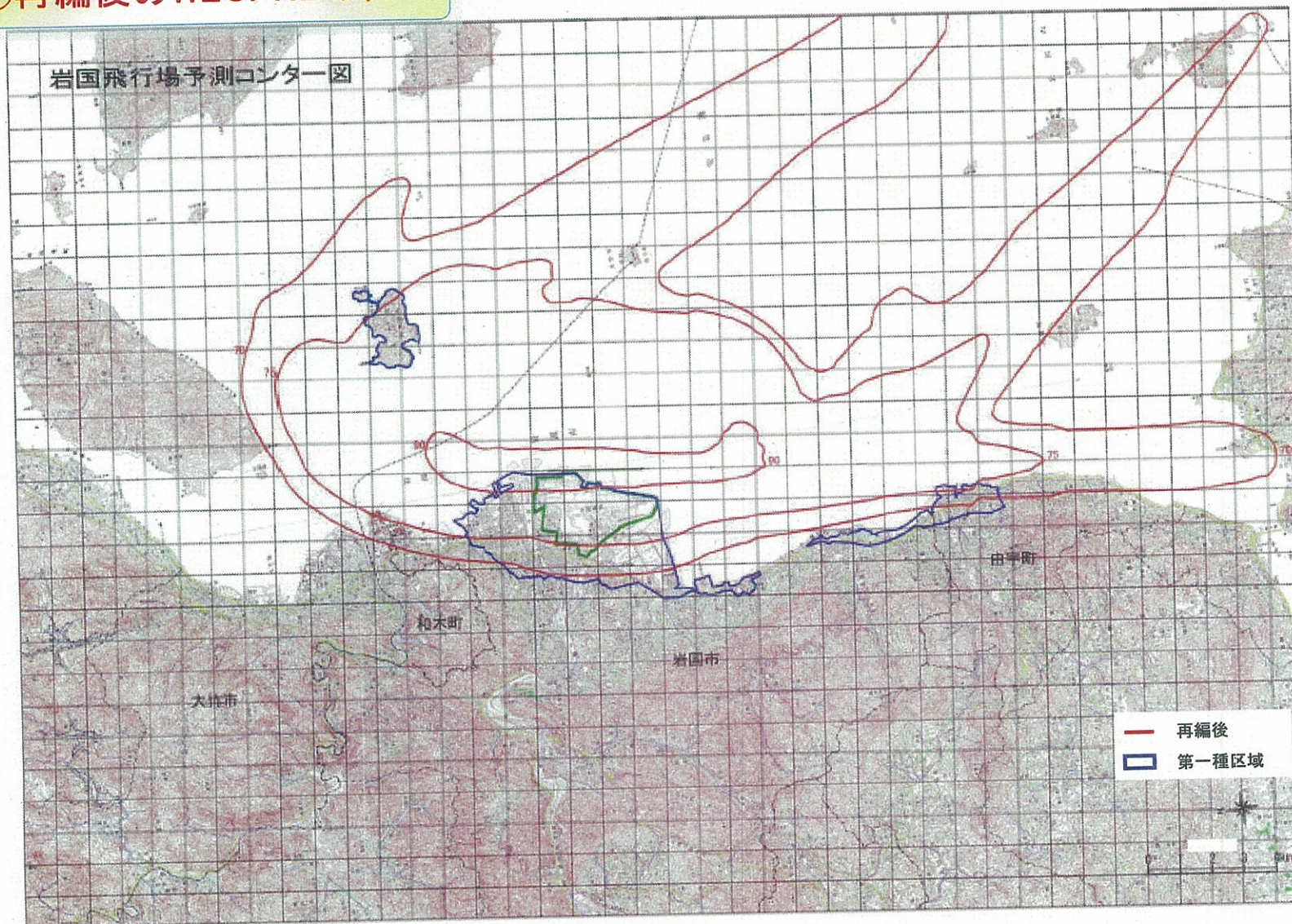
⑥ ジェット機(EA-6B)によるNLPの際のdB(A)コンター

(現在の滑走路で実施した場合)



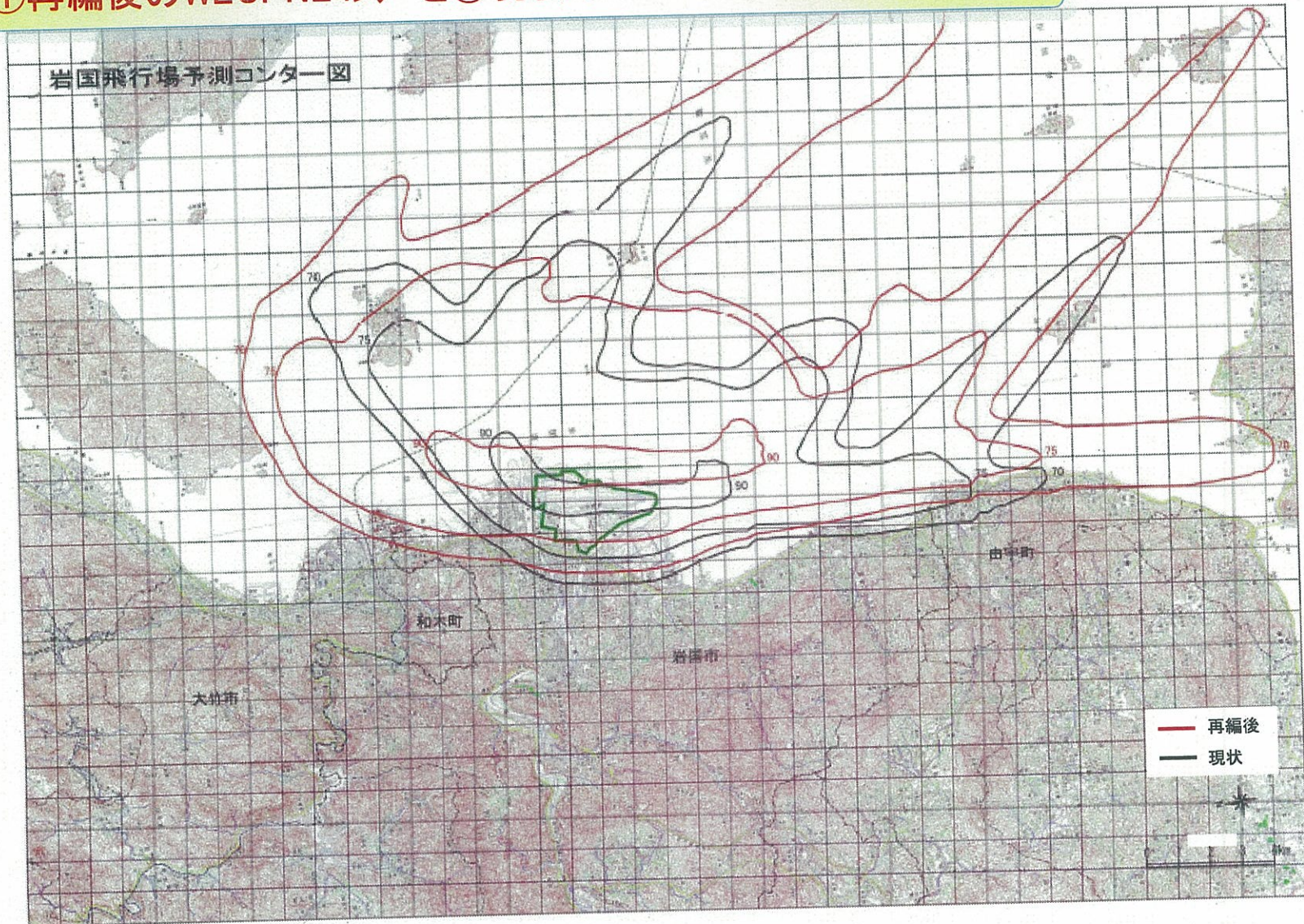
# 8 予測結果

## ①再編後のWECPNLコンター



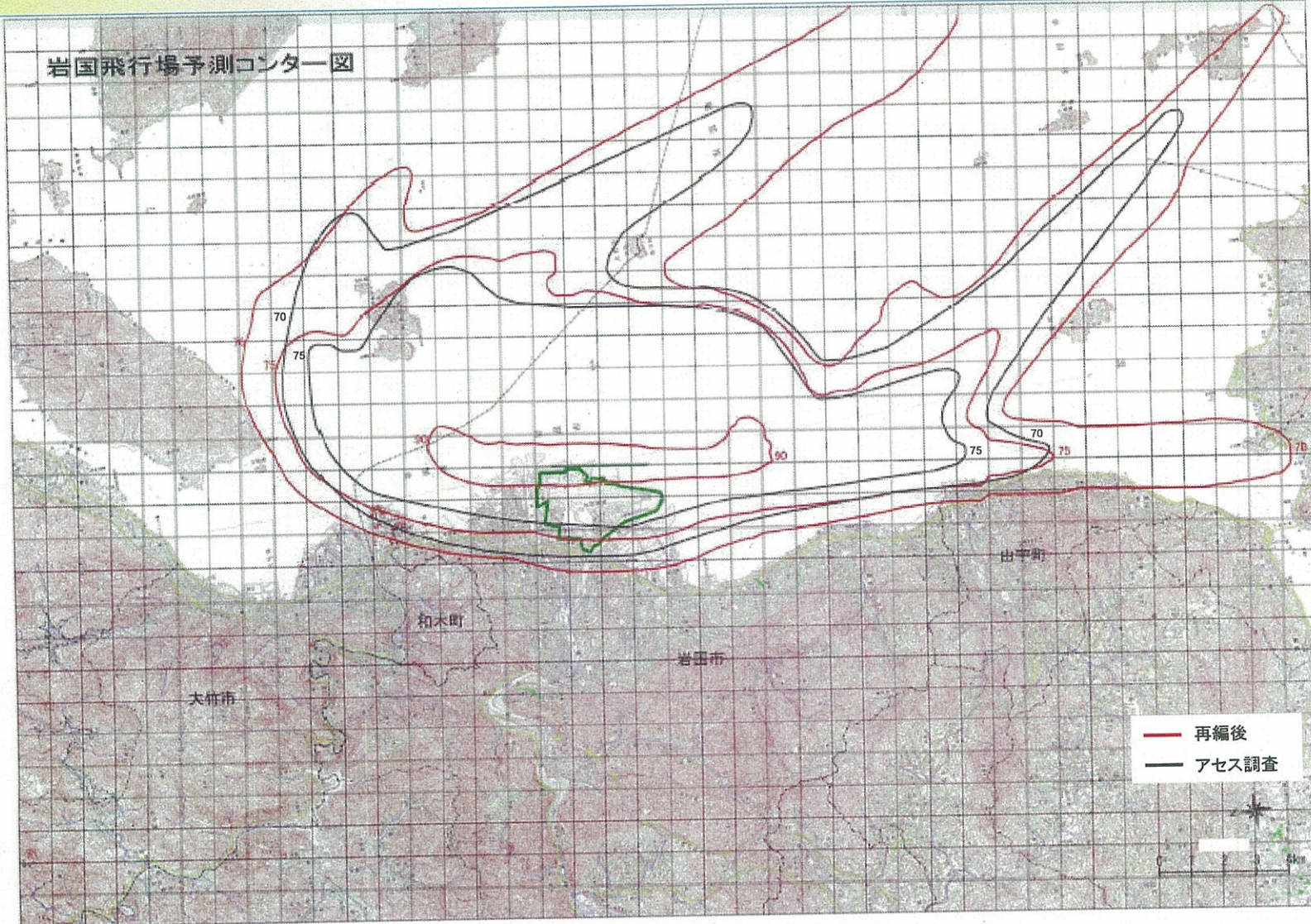


①再編後のWECPNLコンターと②現状のWECPNLコンターとの比較



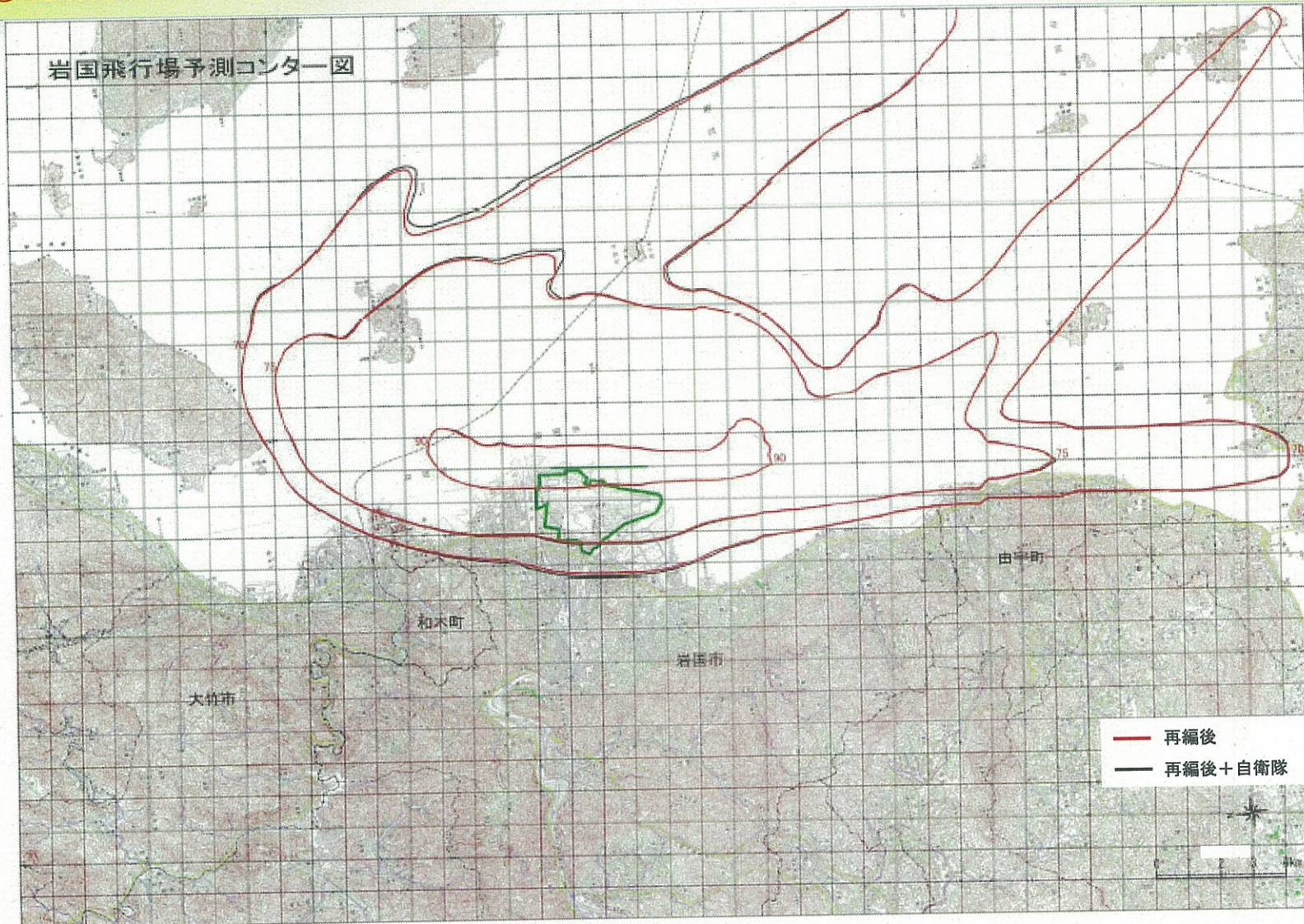


# ①再編後のWECPNLコンターと③環境アセス調査のWECPNLコンターとの比較





①再編後のWECPNLコンターと④厚木からの移駐のみを考慮したWECPNLコンターとの比較





⑤低騒音機(E-2C)によるNLPの際のdB(A)コンターと⑥ジェット機(EA-6B)によるNLPの際のdB(A)コンターとの比較

